



# 第15回 開発・技術マネジメント 革新大会

## 技術が経営をドライブする ～ RD & Eが日本の元気を引っ張ろう！～

3月11日、東日本大震災が発生しました。そして、その被害の大きさに我々は震撼しました。

「日本はどうなってしまうのだろうか・・・」誰もが強い不安にかられたのではないかと思います。しかし、震災直後から被災地をそして日本を応援するメッセージや支援が世界中で巻き起こり、日本がこれまで世界の中で果たしてきた貢献や役割の大きさに改めて気づかされました。

多くの大切な人を失い、今なお不自由な生活の中で頑張っておられる被災地の方々を思うと、軽々しく「元気になろう」などとは言えません。しかし、一歩一歩前に進むことで、困難な時期を乗り越え、強い日本を取り戻していくことができると我々は信じています。

～RD & Eが日本の元気を引っ張ろう！～ 今回はそのような思いを持って、研究・開発に携わる皆様と集い、「技術」を通して世界に貢献する日本の姿と、それを担うRD & E現場における取り組みについて議論したいと思います。

開催  
日時

2011.6.16 (木)

9:45～18:30 (受付9:15～)

会場

東京コンファレンスセンター・品川

主催

株式会社日本能率協会コンサルティング

プログラム

- |                      |  |
|----------------------|--|
| 9:45～10:00           | 開催にあたり   |
| 10:00～11:20          | 基調講演:技術経営の普及で企業・産業に活力を呼び込もう  |
| 11:30～12:30          | 特別講演:「絶えざる革新」ー成長をドライブするイノベーションウエーブ   |
| 13:20～15:00<br>◇午後Ⅰ部 | 【A-Ⅰ】 先行提案力強化に向けた技術ロードマップ構築活動<br>【B-Ⅰ】 攻めと守りを両立する知識活用システムの構築<br>【C-Ⅰ】 未来産業想像カレッジ活動報告 |
| 15:20～17:00<br>◇午後Ⅱ部 | 【A-Ⅱ】 中国市場開発<br>【B-Ⅱ】 「全体と部分の最適化」を志向した人財開発部門の挑戦<br>【C-Ⅱ】 パネルディスカッションセッション「集え！革新スタッフ」 |
| 17:15～18:30          | 参加者交流会   |

## 開催にあたり

東日本大震災で被災された皆様、そのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の災害に見舞われた多くの企業の方々が、事業継続に向け活動をなされている状況下で本大会を開催するかどうか、大会事務局で検討して参りました。検討の結果、我々は日本の復興、事業継続を目指し、努力されている皆様と一緒に、日本の強みである技術および技術マネジメントについて、共有化する場を継続することにいたしました。

今回で15回目になる本大会は「技術が経営をドライブする」を昨年に引き続きメインテーマとし、開催いたします。技術が経営をドライブするための視点を皆様と共有するとともに、皆様とのディスカッションを通し、日本の復興に向け「元気の気付き」が生まれることを期待しております。



RD&Eマネジメント革新センター センター長 鈴木 亨

### RD大会とは

開発・技術マネジメント革新大会(RD大会)は、RD&Eマネジメントの新潮流を皆様とともに研究すべく、JMAC日本能率協会コンサルティングRD&Eマネジメント革新センターが企画・主催し、今年で15回目を迎えます。

### JMAC RD&Eマネジメント革新センターとは

JMACは、1950年代後半から、研究開発・開発設計・生産技術領域(略称:RD&E)のコンサルティング活動、調査研究・出版・セミナーなどを行い、産業界の発展に寄与すべく努力してまいりました。RD&Eマネジメント革新センターは、国・業界・業種を越えて、研究開発、設計、技術に関する経営革新を推進するプラットフォームです。研究開発・技術開発活動の社会的役割と期待に応えるための諸活動の推進の中核機関となることを標榜しています。

## 午前 共通セッション (9:45~12:30)

講演時間および内容は変更の可能性がございます。

### 基調講演

## 技術経営の普及で企業・産業に活力を呼び込もう

北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科・教授  
先端領域社会人教育院・院長(兼務) 井川 康夫 氏

バブル崩壊以後、日本は回復に向けての苦闘が続いています。この状況を打破するためには、付加価値の高いプロダクト・サービスを創出して、それを世界に展開する必要があります。付加価値を高めるには、技術知識とともに市場知識を高度化する必要があります。技術経営は、そうした方法論を提供する学問領域ですが、実際の現場に立脚した議論による理論と実践の融合が重要です。技術経営をイノベーション経営と捉え、より広範な人材を取り込みながら、技術と市場の革新を作り出して付加価値を継続的に創出して競争力を強化する経営が求められています。

本講演では、こうした視点について考察し、企業・産業に活力をもたらすための糸口を探りたいと思います。

井川 康夫 氏 1975年 東京芝浦電気株式会社(現(株)東芝)に入社し、入社以来一貫して半導体デバイス、回路の研究開発に従事。1989年 東芝ロンドン事務所(英国)研究技術代表。1991年 東芝ケンブリッジリサーチセンター(英国)責任者・副所長、ケンブリッジ大学Cavendish Laboratory客員。1994~2004年 東芝研究開発センター(材料デバイス第3研究所長・企画グループ長・Chief Research Officer/副所長)。

2004年7月に北陸先端科学技術大学院大学・知識科学研究科・教授に就任。現在、同大学先端領域社会人教育院・院長、東京サテライト長を兼務されている。



### 特別講演

## 「絶えざる革新」ー成長をドライブするイノベーションウエーブ

花王株式会社 取締役執行役員 研究開発部門副統括  
ヒューマンヘルスケア研究センター センター長 澤田 道隆 氏

企業を持続的に成長させていくには、イノベーションの継続(イノベーションウエーブ)が重要となります。

特にB to Cビジネスでは、技術の価値変換のレベルがその成否を左右します。今回の講演では、いくつかの事例を挙げながら技術の価値最大化のポイントを示すと共に、大きな社会変化の潮流を捉えた今後の価値最大化のあり方についてもご紹介いたします。

澤田 道隆 氏 1981年 花王石鹼株式会社(現 花王株式会社)に入社  
素材開発研究から商品開発研究まで幅広く従事  
2003年 サニタリー研究所所長  
2006年 執行役員 研究開発部門副統括  
2008年 取締役執行役員  
現在に至る



## 午後セッション

午後セッションは、2部制になっております。それぞれ、A～C3つの講演の中から、ご興味ある講演を1つお選びください。組み合わせは自由となっております。お申込みが多数となり会場の定員に達した場合、セッションへのお申込みを締め切らせて頂く場合がございます。講演時間および内容は変更の可能性があります。

### 午後Ⅰ部 (13:20～15:00)

▼下記セッションからいずれか一つをお選び頂き、お申込みください

#### A- 事業・技術戦略革新セッション①

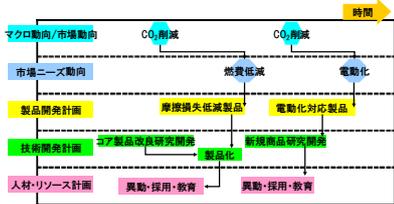
### 先行提案力強化に向けた 技術ロードマップ構築活動

～オンリーワン商品の継続的創出を狙って～

帝国ピストリング株式会社 技術センター  
技術企画室 主幹 山本 英継 氏

自動車産業ではグローバルなクルマ社会の未来に向けた様々なイノベーションが急速に進んでいます。このような背景のもと、エンジン部品メーカーにおいても、将来の変化を見通した顧客価値やそれを具現化する商品を提案することが求められています。

本セッションでは、このような将来の変化を見通したオンリーワン商品の提案を行うために重要となる、技術ロードマップの策定活動についてご紹介いたします。

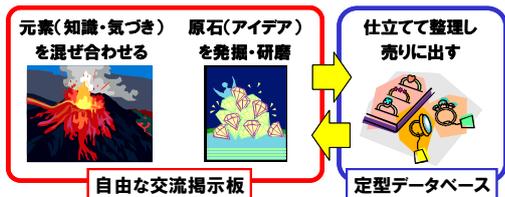


#### B- プラットフォーム革新セッション①

### 攻めと守りを両立する知識活用システムの構築

小林製薬株式会社 中央研究所 研究管理・推進部  
開発職能推進グループ 内田 春奈 氏

新しいアイデアを試行錯誤し「あったらいいな」の製品コンセプトを生み出す(攻め)ための、自発性・創造性に富む流動的な知識のつぼ。そしてお客様への説明責任を果たす上で、製品の設計書やパフォーマンス・安全性などのデータを残しつつも取り出せるような状態を作る(守り)ための見やすい知識保管庫。小林製薬の製品開発部門が必要としている2つのニーズを両立するために取り組んだ、基本構想作りから定着活動までをご紹介します。



#### C- Next Doorセッション①

### 未来産業想像カレッジ活動報告

未来産業想像カレッジメンバー  
株式会社日本能率協会コンサルティング

RD&Eマネジメント革新センターでは、企業、業種の壁を超えて知を集め、イノベーションを構想する取り組みとして「未来産業想像カレッジ」を行っています。2010年10月より、その第一弾として「食のビジネスイノベーション」をテーマに、食品、化学、電機、情報、輸送機器など様々な企業の方に参加いただき、食をとした未来の姿と求められるビジネスについて議論してきました。本セッションでは、活動内容をご紹介しながら、下記の2つの視点で参加者の皆様を交えたディスカッションを行います。

1. 未来の食ビジネスとは
2. 異なる知を融合し、新たな知を創出するための取り組みとは

### 午後Ⅱ部 (15:20～17:00)

▼下記セッションからいずれか一つをお選び頂き、お申込みください

#### A- 事業・技術戦略革新セッション②

### 中国市場開発

～今こそ中国へ、巨大市場にいかにして挑むか～

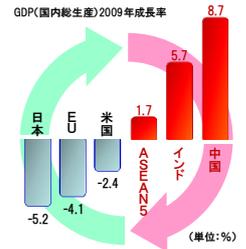
株式会社日本能率協会コンサルティング 経営戦略本部  
本部長 シニア・コンサルタント 富永 峰郎

国内市場が停滞する中、持続的成長を図るには、中国を中心とした新興国市場への展開が不可欠です。しかし、中国市場の実態やリスクを如何にして見えるようにするか？

中国市場開発体制をどう組むか？  
などの課題が多数存在します。

このような課題を解消し、事業を成功に導く道筋を紹介させていただきながら、参加される皆様とディスカッションを行います。

- ・第4次中国ブームを制するには？
- ・中国進出、失敗の2つのパターンとは？
- ・中国市場開発、成功の方程式とは？



#### B- プラットフォーム革新セッション②

### 「全体と部分の最適化」を志向した 人財開発部門の挑戦

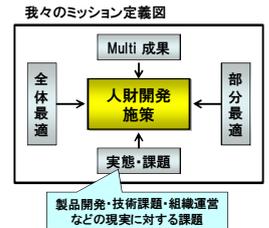
～ミッションは何か 成果は何か～

株式会社日立国際電気 人事総務本部  
人財戦略部 主管 森 邦夫 氏

電機メーカーが直面する課題は、多くの業界同様、複雑多岐にわたり、且つ絶えず変化していきます。その中で、ミッションを持って成果を志向する人財開発施策を展開していくことは容易ではありません。

しかし、社内外との連携を通じて活路を見出せることもあります。

合併して10年経過した弊社の人財開発施策を振り返り、紆余曲折ながら展開してきた施策の正当性や問題点について、会場の皆様とのフリートークにより、『R&Dマネジメント革新大会・白熱教室』を展開したいと思っております。是非、多くの方のご参加をお待ちしております。



#### C- Next Doorセッション②

### パネルディスカッションセッション 「集え！革新スタッフ」

キューピー株式会社  
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社  
東京エレクトロン東北株式会社  
ナブテスコ株式会社  
松本機械工業株式会社  
(50音順)

本セッションでは、R&Dの現場で革新スタッフとして強い使命感と情熱をお持ちの方にパネラーをお願いし、「革新スタッフの姿勢、よき動き方、悩ましさ」等についてのパネルディスカッションを行います。

参加するパネラー、聴衆、コーディネータの3者が一体となって議論し、知を創発させることで、明日を開くための革新着眼(扉)を発見する場」という意味を込めた双方向交流型セッションです。

## 参加方法 下記URLまたはFAXでお申し込みください

http://www.jmac.co.jp/service/event/

FAX. 03-3434-2963

**参加料**／21,000円(資料・昼食・交流会・消費税込み)  
**定員**／300名(お申込み順)

### ■参加申込方法

- 参加希望の方は、インターネットもしくは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。
- お申込み順にて受付、後日参加証・請求書をお送りします。

### ■ご注意

- 定員になり次第締切とさせていただきます。
- FAXでのお申込みは、開催日の3日前まで受付いたします。
- 同業者はお断わりする場合がございます。
- 諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。
- ご案内のご送付先変更・中止などのご希望の方は、お手数ですがご希望内容記載の上、メール、FAXにて本大会事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### ■お支払いについて

- 参加料は開催前日までに請求書の銀行口座へお振り込みください。(振り込み手数料は貴社でご負担いたします。)

### ■キャンセル規定

- 参加料振込み後のキャンセルはできませんので予めご了承ください。参加者のご都合が悪い場合は、代理の方のご出席の調整をお願いいたします。

## 第15回 開発・技術マネジメント革新大会 申込書

参加証・請求書のご送付方法はどちらを希望されますか。

E-Mail希望

郵送希望

PDF形式のファイルとなります。

貴社名・事業所名(フリガナ) \_\_\_\_\_

業種

- 1.食品 2.繊維製品 3.パルプ・紙 4.化学 5.医療品  
6.石油・石炭製品 7.ゴム・窯業 8.鉄鋼・非鉄金属・金属製品  
9.機械 10.電気機器 11.輸送用機器 12.精密機器  
13.その他製造業 14.電気・ガス業 15.運輸・通信業  
16.卸売業 17.小売業 18.金融・保険業 19.建設・不動産業  
20.サービス業 21.公共 22.その他

ご住所(フリガナ) \_\_\_\_\_ 〒 \_\_\_\_\_

▼ 午後の参加希望セッション(午後部、午後部)を選択して下さい

参加 責任 者	氏名(フリガナ) _____
	部署名 _____
	役職名 _____
	TEL _____ FAX _____
E-mail _____	

参加希望)各1つ選択してください

午後 部	<input type="checkbox"/> A-	午後 部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

参加 者 ①	氏名(フリガナ) _____
	部署名 _____
	役職名 _____
	TEL _____ FAX _____
E-mail _____	

参加希望)各1つ選択してください

午後 部	<input type="checkbox"/> A-	午後 部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

参加 者 ②	氏名(フリガナ) _____
	部署名 _____
	役職名 _____
	TEL _____ FAX _____
E-mail _____	

参加希望)各1つ選択してください

午後 部	<input type="checkbox"/> A-	午後 部	<input type="checkbox"/> A-
	<input type="checkbox"/> B-		<input type="checkbox"/> B-
	<input type="checkbox"/> C-		<input type="checkbox"/> C-

印の方宛てに参加証・請求書をまとめてご送付します。(不都合がある場合は、備考欄にご記入ください。)

備考:

- 本個人情報は、弊社事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。
- 弊社は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。
- 本情報の訂正、削除などをご希望される場合には、お問合せ先「第15回 開発・技術マネジメント革新大会事務局」までご連絡ください。

問い合わせ先 **株式会社日本能率協会コンサルティング 第15回 開発・技術マネジメント革新大会事務局**  
TEL : 03-3434-0063 FAX : 03-3434-2963 E-mail : event\_consult@jmac.co.jp